

開講年度・学期	2018年度・前期	授業形態	講義
科目名	商法第1部	科目ナンバー	JAPRI2206
英語表記	Commercial Law 1	担当教員	藤田 勝利
単位数	2		
科目の主題			
<p>商法総則と商行為法を講義対象とする。民法典と区別される商法典の一般原則と商法典に規定する商行為（商取引）の概要について明らかにする。</p>			
授業の到達目標			
<p>商法典の規制対象は限定的でかつ今日の経済活動に適さない規定が少なくないので、普通取引約款や商慣習、判例などを活用しながら、実際の商取引の規制の在り方について、受講生が実社会でも役立つような必要最小限の基礎知識や法的思考方法が習得できるように講述する。</p>			
授業内容・授業計画			
第1回	授業の概要の説明—商法とは（実質的意義の商法と形式的意義の商法のかい離）		
第2回	商法の法源とその適用順序—普通取引約款はなぜ拘束力を持つか。		
第3回	商人とは—商人資格の得喪		
第4回	商業登記制度—商業登記の効力・外観法理との関係		
第5回	商号—商号の保護と名板貸し		
第6回	営業の譲渡—意義と効果・会社の事業譲渡と企業組織再編		
第7回	商業帳簿制度—公正妥当な会計慣行と企業会計原則		
第8回	商業使用人—支配人とそれ以外の商業使用人・表見支配人		
第9回	代理商—商業使用人との対比・締約代理商・特約店		
第10回	商行為とは—附属的商行為・商行為法通則（民商法の改正）		
第11回	民商法の売買の比較—商事売買と民事売買		
第12回	商事仲立人と民事仲立人—不動産取引		
第13回	運送営業—商法典の改正問題		
第14回	場屋営業—ホテルの責任		
第15回	総括—〇×式テスト（理由付記）		
事前・事後学習の内容			
<p>担当者編著のテキストと簡単なレジュメの即して、講述するが、各回の授業内容を事前にテキストを通読して予習し、かつ事後的にテキストを補完して講述した内容を整理しておくことが望まれる。</p>			
評価方法			
<p>原則として期末の記述式試験80%+〇×式小テスト（理由付記）20%で評価する。</p>			
受講生へのコメント			
<p>民法法との関係科目（民法・他の商法・民事訴訟法など）を可能な限り履修されたい。特に民法総則・契約法（債権法）は不可欠。</p>			

教材

藤田勝利・北村雅史編『プライマリー商法総則・商行為法〔第3版〕』（法律文化社 2010年）
別冊ジュリスト『商法（総則・商行為）判例百選』〔第5版〕（有斐閣 2008年）
指定六法は不可欠。

その他**履修可能最低年次**

2年次生以上